

階上町漁港海岸施設 [個別施設計画]



計画作成年：令和3年3月
漁港海岸管理者：階上町

【個別施設対象の漁港海岸】

・大蛇漁港海岸__ 護岸 L=130.9m

のうち [北側] ・護岸（重力式擁壁） L=112.9m

[南側] ・傾斜護岸（階段式） L=18.0m



・追越漁港海岸__ 護岸 L=188.0m

のうち [北側] ・直立護岸（直立波返しタイプ） L=110.0m

[南側] ・直立護岸（直立波返しタイプ） L=78.0m



階上町漁港海岸施設 [個別施設計画]

1 基本的事項

海岸付近の人家や道路等への越波対策や海岸の浸食対策として、護岸を整備しております。

階上町が管理する漁港海岸施設は、大蛇漁港海岸、追越漁港海岸に護岸4施設あり、築造後、一部38年経過しており、今後、修繕や更新に要する費用が増大する可能性があります。

近年、合理的かつ効果的な手法による公共資産の維持管理が強く求められており、今後、増大が見込まれる施設の修繕や更新費用について、長寿命化を図り可能な限りコストを縮減していくことを基本方針とします。

2 対象施設

本計画の対象とする施設は、別紙のとおりです。

3 基本計画

本計画における施設の毎の計画期間は、別紙のとおりです。

4 施設の状態等

本計画の策定にあたって実施した点検・診断により把握した施設毎の状態については、別紙のとおりです。

5 対策費用

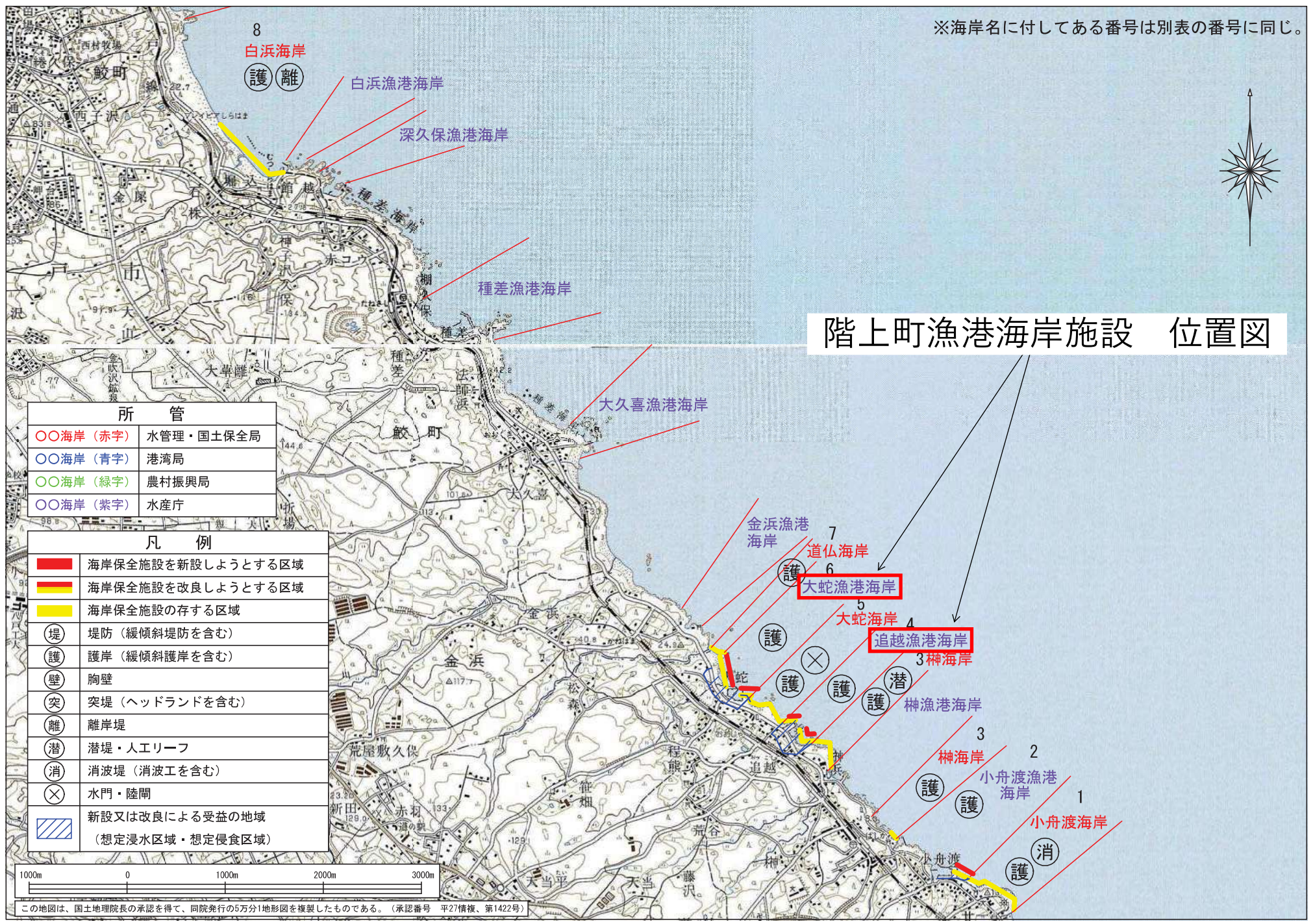
個別施設ごとの対策費用の概算については、別紙のとおりです。なお、この金額は、計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額の変動が生じる場合があります。

添付図 (下北八戸沿岸 1/17)

※海岸名に付してある番号は別表の番号に同じ。

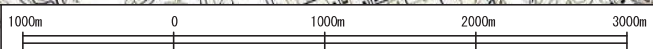


階上町漁港海岸施設 位置図



所 管	
○海岸 (赤字)	水管理・国土保全局
○海岸 (青字)	港湾局
○海岸 (緑字)	農村振興局
○海岸 (紫字)	水産庁

凡 例	
	海岸保全施設を新設しようとする区域
	海岸保全施設を改良しようとする区域
	海岸保全施設の存する区域
⊕	堤防 (緩傾斜堤防を含む)
⊖	護岸 (緩傾斜護岸を含む)
⊗	胸壁
⊙	突堤 (ヘッドランドを含む)
⊘	離岸堤
⊚	潜堤・人工リーフ
⊛	消波堤 (消波工を含む)
⊜	水門・陸閘
	新設又は改良による受益の地域 (想定浸水区域・想定侵食区域)



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1422号)

大蛇漁港海岸 個別施設計画

地区海岸名:大蛇漁港海岸 管理者:階上町 計画策定:令和3年3月

海岸及び海岸保全施設の概要

海岸保全施設の概要

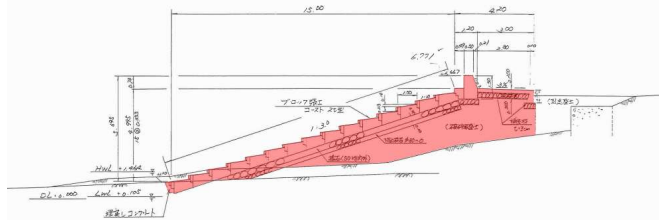
施設の種類	護岸	構造形式	傾斜護岸(階段式)	数量	18.0m
竣工年月日	昭和62年2月10日				
背後地の利用状況、重要性など					
防護延長	18.0m	防護人口	356人	防護区域内の建物	153棟
地域中枢機能集積地区	無	大規模地震防災対策推進地域	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策		

平面図、航空写真等



標準断面図

大蛇 ①護岸 標準断面図 S1/S2



長寿命化計画の概要

計画の目標

本計画は大蛇漁港海岸において、背後地に住宅、海業支援施設等、漁協施設があり、主要地方道八戸階上線の沿線走り円滑な交通確保を図るため、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、予防保全の考え方に基づいた適切な維持管理を行うことを目的とする。
 なお、点検結果や修繕等の実施、海岸の状況の変化等により、必要に応じて本計画の見直しを行って適切な維持管理を行うこととする。

計画期間の設定

本地区漁港海岸における長寿命化計画の計画期間は、設計供用期間を参考とし、50年とする。本地区海岸の海岸保全施設は概ね整備後34年が経過しているため、残期間の16年を目安として、現在の健全度評価の結果等を勘案しつつ、当該海岸保全施設の点検に関する計画及び修繕等に関する計画を策定する。

海岸保全施設の点検結果

点検日:令和3年1月25日

部位	変状ランク	変状の状況	寸法等	健全度評価
ブロック張工	d	特になし		Dランク
土留工	d	特になし		
護岸エプロン	d	特になし		

点検に関する計画

	確認項目	実施予定時期
巡視	重点点検箇所(ブロックの亀裂、破損)	3回程度/年
定期点検	対象施設の全体	1回/5年
臨時点検	対象施設の全体	地震、津波、高潮、高波等の発生後

修繕に関する計画

修繕の方法と概要

断面修復工法、ひび割れ補修工法、部分打替工法

優先順位の考え方

大蛇漁港海岸における修繕の優先順位は、老朽化状況を踏まえ、点検の結果から適切な維持・修繕を行う県管理海岸である大蛇海岸と隣接することから、時期・協議を行っていく

実施時期

令和11年度

修繕等対策費用の概算

5,000 千円

点検記録

撮影年月日:令和3年1月

起点側より
全景写真



主な破損等

位置
中間下段
コメント
ブロック一部損傷



終点側より
全景写真



位置
中間
コメント
異常なし



大蛇漁港海岸 個別施設計画

地区海岸名:大蛇漁港海岸 管理者:階上町 計画策定:令和3年3月

海岸及び海岸保全施設の概要

海岸保全施設の概要

施設の種類	護岸	構造形式	重力式擁壁	数量	112.9m
竣工年月日	平成30年3月26日				

背後地の利用状況、重要性など

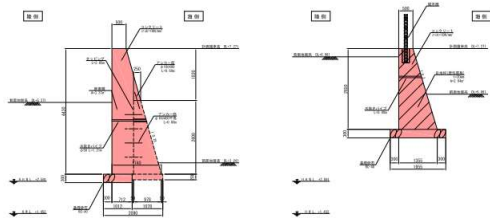
防護延長	112.9m	防護人口	356人	防護区域内の建物	153棟
地域中枢機能集積地区	無	大規模地震防災対策推進地域	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策		

平面図、航空写真等



標準断面図

大蛇 ②護岸 標準断面図 S=1/50



長寿命化計画の概要

計画の目標

本計画は大蛇漁港海岸において、背後地に住宅、海業支援施設等、漁協施設があり、主要地方道八戸階上線の沿線走り円滑な交通確保を図るため、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、予防保全の考え方に基づいた適切な維持管理を行うことを目的とする。

なお、点検結果や修繕等の実施、海岸の状況の変化等により、必要に応じて本計画の見直しを行って適切な維持管理を行うこととする。

計画期間の設定

本地区漁港海岸における長寿命化計画の計画期間は、設計供用期間を参考とし、50年とする。本地区海岸の海岸保全施設は概ね整備後3年が経過している。整備後間もないため、現在の健全度評価の結果等を勘案しつつ、当該海岸保全施設の点検に関する計画及び修繕等に関する計画を策定する。

海岸保全施設の点検結果

点検日:令和3年1月25日

部位	変状ランク	変状の状況	寸法等	健全度評価
護岸天端	d	特になし		Dランク
擁壁工	d	特になし		

点検に関する計画

	確認項目	実施予定時期
巡視	重点点検箇所(護岸本体の亀裂、浸食)	3回程度/年
定期点検	対象施設の全体	1回/5年
臨時点検	対象施設の全体	地震、津波、高潮、高波等の発生後

修繕に関する計画

修繕の方法と概要

断面修復工法、ひび割れ補修工法、部分打替工法

優先順位の考え方

大蛇漁港海岸における修繕の優先順位は、老朽化状況を踏まえ、点検の結果から適切な維持・修繕を行う県管理海岸である道仏海岸と隣接することから、時期・協議を行っていく

実施時期

令和42年度

修繕等対策費用の概算

12,000 千円

点検記録

撮影年月日:令和3年1月

起点側より
全景写真



主な破損等

位置
中間点、天端
コメント
異常なし



終点側より
全景写真



位置
中間
コメント
異常なし



追越漁港海岸 個別施設計画

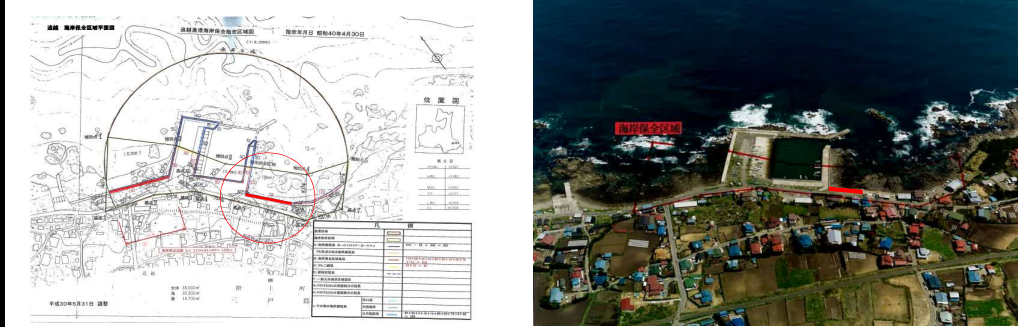
地区海岸名: 追越漁港海岸 管理者: 階上町 計画策定: 令和3年3月

海岸及び海岸保全施設の概要

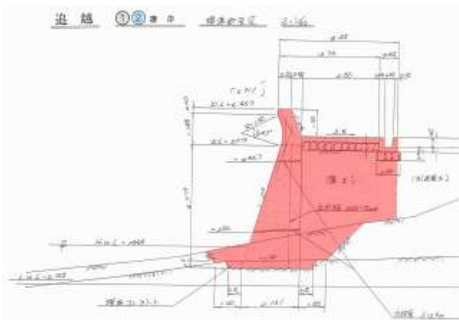
海岸保全施設の概要

施設の種類	護岸	構造形式	直立護岸(直立波返しタイプ)	数量	78m
竣工年月日	昭和58年12月7日				
背後地の利用状況、重要性など					
防護延長	78.0m	防護人口	332人	防護区域内の建物	144棟
地域中枢機能集積地区	無	大規模地震防災対策推進地域	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策		

平面図、航空写真等



標準断面図



長寿命化計画の概要

計画の目標

本計画は追越漁港海岸において、背後地に住宅、漁協施設等があり、主要地方道八戸階上線の沿線走り円滑な交通確保を図るため、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、予防保全の考え方に基づいた適切な維持管理を行うことを目的とする。

なお、点検結果や修繕等の実施、海岸の状況の変化等により、必要に応じて本計画の見直しを行って適切な維持管理を行うこととする。

計画期間の設定

本地区漁港海岸における長寿命化計画の計画期間は、設計供用期間を参考とし、50年とする。本地区海岸の海岸保全施設は概ね整備後38年が経過しているため、残期間の12年を目安として、現在の健全度評価の結果等を勘案しつつ、当該海岸保全施設の点検に関する計画及び修繕に関する計画を策定する。

海岸保全施設の点検結果

点検日: 令和3年1月25日

部位	変状ランク	変状の状況	寸法等	健全度評価
護岸本体	d	特になし		Dランク
護岸天端	c	天端にひび割れあり	起点から12.6m付近、長さ1m程度	

点検に関する計画

	確認項目	実施予定時期
巡視	重点点検箇所(護岸本体の亀裂、浸食)	3回程度/年
定期点検	対象施設の全体	1回/5年
臨時点検	対象施設の全体	地震、津波、高潮、高波等の発生後

修繕に関する計画

修繕の方法と概要

断面修復工法、ひび割れ補修工法、部分打替工法

優先順位の考え方

追越漁港海岸における修繕の優先順位は、老朽化状況を踏まえ、点検の結果から適切な維持・修繕を行う県管理海岸である道仏海岸と隣接することから、時期・協議を行っていく

実施時期

令和9年度

修繕等対策費用の概算

4,000 千円

点検記録

撮影年月日: 令和3年1月

起点側より
全景写真



主な破損等

位置
中間点、天端
コメント
天端部の亀裂あり



終点側より
全景写真



位置
中間点
コメント
異常なし



追越漁港海岸 個別施設計画

2枚中1

地区海岸名: 追越漁港海岸

管理者: 階上町

計画策定: 令和3年3月

海岸及び海岸保全施設の概要

海岸保全施設の概要

施設の種類	護岸	構造形式	直立護岸(直立波返しタイプ)	数量	110.0m
竣工年月日	平成2年3月10日				

背後地の利用状況、重要性など

防護延長	110.0m	防護人口	332人	防護区域内の建物	144棟
地域中枢機能集積地区	無	大規模地震防災対策推進地域	日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策		

平面図、航空写真等



標準断面図



長寿命化計画の概要

計画の目標

本計画は追越漁港海岸において、背後地に住宅、漁協施設等があり、主要地方道八戸階上線の沿線走り円滑な交通確保を図るため、海岸保全施設の防護機能を可能な限り長期間維持できるよう、予防保全の考え方に基づいた適切な維持管理を行うことを目的とする。

なお、点検結果や修繕等の実施、海岸の状況の変化等により、必要に応じて本計画の見直しを行って適切な維持管理を行うこととする。

計画期間の設定

本地区漁港海岸における長寿命化計画の計画期間は、設計供用期間を参考とし、50年とする。本地区海岸の海岸保全施設は概ね整備後31年が経過しているため、残期間の19年を目安として、現在の健全度評価の結果等を勘案しつつ、当該海岸保全施設の点検に関する計画及び修繕に関する計画を策定する。

海岸保全施設の点検結果

点検日: 令和3年1月25日

部位	変状ランク	変状の状況	寸法等	健全度評価
護岸本体	c	ひび割れあり、4箇所	長さ3~4m程度	Cランク
護岸天端	d	天端にひび割れあり、1箇所	長さ1m程度	

点検に関する計画

	確認項目	実施予定時期
巡視	重点点検箇所(護岸本体の亀裂、浸食)	3回程度/年
定期点検	対象施設の全体	1回/5年
臨時点検	対象施設の全体	地震、津波、高潮、高波等の発生後

修繕に関する計画

修繕の方法と概要

断面修復工法、ひび割れ補修工法、部分打替工法

優先順位の考え方

追越漁港海岸における修繕の優先順位は、老朽化状況を踏まえ、点検の結果から適切な維持・修繕を行う県管理海岸である道仏海岸と隣接することから、時期・協議を行っていく

実施時期

令和14年度

修繕等対策費用の概算

15,000 千円

点検記録

撮影年月日: 令和3年1月

起点側より
全景写真
起点側より



終点側より
全景写真
終点側より



終点側より
全景写真
中間地点



位置
起点から59.0m付近
コメント
下部から3mひび割れ



追越漁港海岸 個別施設計画

2枚中2

地区海岸名: 追越漁港海岸

管理者: 階上町

計画策定: 令和3年3月

点検記録

撮影年月日: 令和3年1月

位置

起点から75.4m付近

コメント

下部から3mひび割れ



起点から67.0m付近

コメント

下部から3mひび割れ



起点から84.7m付近

コメント

下部から4mひび割れ



起点から84.7m付近

コメント

天端ひび割れ

